

『憧れの旅』

吉田中学校 星野 理莉

私は今回の事業を通して学んだことが大きく二つあります。

一つ目は積極性です。私はコロラドやホストファミリーの家に行った日には自分から話しかけることが出来ず、貴重なチャンスを逃すタイミングが多くありました。

しかし、「日本でできていることをどんな場所でも出来るようにしたい！」その思いで自分から質問を投げかけるなどをしました。話しかけてみると自分が想像していたような不安な気持ちは全くなり自分が話したことでリアクションを取ってくれることやそこから話を広げてくれたりすることで自分から話しかける事が楽しいというおもいに変わりこの経験から私は積極性を学ぶことが出来ました。

二つ目は諦めないという事です。七日間を通して“言語の壁”にぶつかることが本当に多く、買い物をするというだけでも戸惑いスムーズに進めることが出来ませんでした。ですが、周りの方に自分の今の状況を話したり身振り手振りで伝えると皆さん理解しようとしてくれたりしました。このことで、私はその場で一人、戸惑いその瞬間諦めるのではなく自分の力だけで話すという事が出来ました。

言語が違うというだけなのに自分の中で“話す言葉が違うからしょうがない”と諦めしまう場面もありましたが派遣期間を通して自分の中の「話したい！」という意欲が一番会話を繋げる糸口になるとわかりました。

私は今回の派遣事業に参加できたことで成長できたことが本当に多くあり、今まで想像していた世界を自分の目で見て触れることが出来た人生にとって本当に大切に貴重な八日間になりました。幼いころから洋楽や海外ドラマなどを見て憧れを抱いていたので実際にいけることにとても喜びを感じていました。普段の生活では絶対に体験できないような事だったからこそ実際に行った派遣期間を通していつも通りの生活の「当たり前」がどれだけ感謝しなければいけないものだったのかを知る機会にもなりました。同時に自分自身が大きく成長し、自分に無いものを本当に多く得られた機会でした。決して英語が得意とは言えない、そんなレベルで行ったホームステイ期間でした。言語、文化、何もかもが違う場所での生活だったからこそ今回の事業で多くの方の優しさに触れることが出来ました。

これからは、今までのように恥ずかしいからという理由で見てもみぬふりをするのではなく困っている人がいたら自分がしてもらったように手を差し伸べていきたいです。最後にこの貴重な機会を用意して下さい、支えてくださった方々、本当にありがとうございました。